

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 もくもく		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの強みを大切にし、得意なこと苦手なことに繋げる こと	アセスメント等からお子さまの強みを知り、得意なことを活かす方法や苦手なことをフォローする方法を見出し、保護者の方に共有することに取り組んでいる。	的確なアセスメントを行い、一人ひとりに適した関わりを提案・実施できるよう職員のスキルアップや組織作りに取り組む
2	ご家族との対話を心がけ、共に考え取り組むこと	ご家族とお話する機会を大切にし、対話を心がけている。 お子さまについて共に考え取り組めるよう、ご家族から相談していただける関係・環境作りに努めている。	ご家族がお話や相談をしやすいよう、職員の対話のスキルアップや環境の設定に取り組む。
3	季節行事や課外活動を行っていること	季節感を知る・楽しむこと、園生活の充実に繋がるよう季節行事を取り入れている。 交通ルールについて学び実施する、遊びの広がりや経験に繋がるよう、散歩や地域の公園での遊びを取り入れている。 興味関心の広がりや、社会的な経験を積めるよう、消防署見学やスーパーでの買い物、バスや電車の公共交通機関を使用することを取り入れている。	季節行事、課外活動が子どもたちにとってより分かりやすく・楽しめる内容になるよう工夫をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい児の交流の機会が設定しきれていないこと	きょうだい児が交流できる機会の設定ができていない。	きょうだい児についての情報発信や交流できる機会を設定できるよう検討する。
2	家族支援プログラムの機会が設定しきれていないこと	家族支援プログラムやご家族が参加できる研修や情報について提供できていなかった。	ご家族が参加できる研修等について情報の発信を行う。 家族支援プログラムの機会を設定できるよう検討する。
3	地域の子ども達との交流の機会を設定しきれていないこと	公園での活動時に地域の子ども達と過ごすことはあったが、意図的な機会の設定ができていない。	地域の子ども達と交流できる機会を設定できるよう検討する。